

# 令和2年度 北多摩北部地域保健医療協議会 会議録

- 1 開催方法 書面開催  
 ※令和2年9月30日(水曜日)、委員宛に資料を送付し、意見書の提出をもって出席とした。

## 2 北多摩北部地域保健医療協議会委員

氏名	現職	氏名	現職
奥村 秀	一般社団法人 小平市医師会長	福留 潮	東村山市立回田小学校長
黒田 克也	公益社団法人 東村山市医師会長	上木 隆人	公衆衛生活動研究所長
田中 英樹	一般社団法人 清瀬市医師会長	奥澤 康司	元東京都福祉保健局 食品医薬品安全担当部長
熊野 雄一	一般社団法人 東久留米市医師会長	島田 美喜	社会福祉法人至誠学舎立川 児童事業本部 至誠こどもセンター所長
指田 純	一般社団法人 西東京市医師会長	手島 陸久	日本社会事業大学元教授
多賀谷 守	公益社団法人 東京都小平市歯科医師会長	西村 一弘	公益社団法人 東京都栄養士会長
北村 晃	一般社団法人東京都 東久留米市歯科医師会長	坂本 直己	立川労働基準監督署長
浅野 幸弘	公益社団法人 西東京市歯科医師会長	新 義友	東村山市商工会長
石塚 卓也	一般社団法人 東村山市薬剤師会長	長 孝	シチズン健康保険組合 常務理事
上西 紀夫	公立昭和病院長	當真 隆則	公募委員
高西 喜重郎	(公財)東京都保健医療公社 多摩北部医療センター院長	小山 康子	公募委員
中込 和幸	国立研究開発法人国立精神・ 神経医療研究センター病院長	村田 明美	公募委員
清水 善信	警視庁小平警察署長	篠宮 智己	小平市健康・保険担当部長
藤原 正直	東京消防庁小平消防署長	山口 俊英	東村山市健康福祉部長
金子 恵一	社会福祉法人 小平市社会福祉協議会長	矢ヶ崎 直美	清瀬市健康福祉部 包括ケア・健康推進担当部長
住本 知子	国立研究開発法人国立精神・ 神経医療研究センター病院 家族会むさしの会会長	小堀 高広	東久留米市福祉保健部長
大山 房七	北多摩北部食品衛生協会会長	佐藤 謙	西東京市健康福祉部ささえ あい・健康づくり担当部長
辰島 清江	東村山環境衛生協会会長	山下 公平	東京都多摩小平保健所長

(敬称略)

3 欠席委員

なし

4 代理出席者

なし

5 議事

(1) 地域保健医療推進プランの中間評価について（協議事項）

6 報告事項

(1) 令和元年度各部会の開催状況について

(2) 令和元年度課題別地域保健医療推進プランの取組について

(3) 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

7 意見のとりまとめについて

意見書は、議事については「賛成」または「反対」を記載していただく形式としており、全ての委員の方から意見書をいただき、議決事項は承認された。

(とりまとめ結果は別紙のとおり)

令和2年度北多摩北部地域保健医療協議会（書面開催）各委員からの意見

1 議事

(1) 地域保健医療推進プランの中間評価について（協議事項）

賛成 35名

反対 0名

	意見	事務局コメント
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度の各市・保健所の取組は、コロナの影響で大幅に縮小、中止されていると思うので、経年変化としてみるのは難しいかと思う。参考値扱いとしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症により、各市や保健所の事業にも影響が出ています。地域保健医療推進プランの中間評価や進捗管理等については、国及び都の保健医療計画推進に関する動向等を踏まえ、今後、部会や協議会で議論していきたいと思います。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により、特定健診の受診率が全国的に減少している状況である。圏域においても、地域保健医療推進プラン等への影響は避けられないと思われる。</li> <li>・健康づくり推進員活動は、計画や規模を縮小、参加人数の制限などを行って活動しているのが現状である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年度までに、全ての市区町村において、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を展開することになるが、このプランに影響は無いのか。</li> <li>・このプランは新型インフルエンザを想定していたものだったが、今後、新型コロナに対応させていくのか（災害対応にも影響があると思う）。介護予防事業やその他の事業の形が大きく変わっていくものとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症による影響と現行の地域保健医療推進プランでの対応については、国及び都の保健医療計画推進に関する動向等を踏まえ、今後、部会や協議会で議論していきたいと思います。</li> <li>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施については、適宜、各市の取組状況を把握していきます。具体的には、2024年度からの次期プランに反映していきたいと考えています。</li> </ul>

## 2 報告事項

### (1) 令和元年度各部会の開催状況について

	意見	事務局コメント
1	・「受動喫煙防止対策」について、多摩小平保健所が行った周知活動について、実績数字をより詳細に提示して欲しい。	・別添資料「受動喫煙防災対策の取組状況」参照（普及啓発実施状況、喫煙可能室届出状況、通報等対応状況）

### (2) 令和元年度課題別地域保健医療推進プランの取組について

#### ア 保健所広報活動の新たな展開 ～感染症予防の効果的な普及啓発を中心に～

	意見	事務局コメント
1	・これに関しては何か新しいことはないので、引き続き、手洗い、うがいについて発信を続けるしかないと思う。	・引き続き、手洗いや咳エチケット等、感染症予防の普及啓発に取り組んでいきます。
2	・保健所の業務等について、市民に講演をお願いしたい。	・現在、大規模な講演会を開催することは難しい状況にあります。保健所ホームページ等を活用し、市民への普及啓発に取り組んでいきます。
3	・コロナ禍での今後の取組について、新たな展開を期待する。	・引き続き、広報活動の充実に努めていきます。
4	・新しい広報媒体として、マスクケースを作成して配布するのはどうか。	・新たな普及啓発資材として、マスクケースの作成、配布も検討していきます。
5	・WEB、SNSなどを利用する広報活動は効果が期待できると思う。キャラクターを導入したのも良いと思う。動画にすると、さらに効果がありそう。	・保健所オリジナルキャラクターを活用し、昨年度は「花粉症」の動画を作成しました。また、今年度は「換気」に関する動画を作成しています。今後、東京都公式動画チャンネル「東京動画」に掲載するなど、広く周知していきます。
6	・多様な広報媒体を活用しての広報が適時適所で実施されており、効果的であると考えます。	・引き続き、適時適切な広報に取組、新たな広報媒体の活用も検討していきます。
7	・もっと保健所の存在が都民にとって身近なものとなるよう、ご尽力をお願いします	・引き続き、都民にわかりやすい広報活動に努めていきます。

	る。	
8	・タイムリーな活動となってしまったが、先見の明があったと思う。	・当面の間、感染症対策を中心に広報活動を展開していきます。
9	<p>・今回の感染症によって、多くの市民があらためて感染症の脅威を知ったと思う。保健所がいろいろ駆使して発信している様々な情報が、実行性のある日常行動として市民にどこまで周知できているか、実情を把握することも必要ではないか。</p> <p>・既に広く利用されているメール配信は、情報発信の有効な手段だが、もっと多くの市民に利用してもらうことで、リアルタイムの情報を迅速に配信することができると思う。</p>	・現在、主に保健所ホームページを活用し、広報活動を展開しています。わかりやすいページ構成とするよう心掛け、ホームページのアクセス数により効果を検証していきます。
10	<p>・コロナ対策、感染予防の基本のポスターを、市報だけでなく、市民が行くすべての店、施設、学校等に「いつも見える化」を希望する。目に見えていないと、ゆるんできて危険と思われる。</p> <p>・禁煙ポスター、チラシ、インフルエンザ、肺炎球菌ワクチン（2回目以降5年ごとの個別のお知らせも含む）、自殺予防ポスターの掲示等があれば意識が高まると思う。</p>	<p>・新型コロナウイルス対策や感染症予防については、国や都等において各種のポスターやチラシが作成されていますが、保健所においてもオリジナルキャラクターを活用したポスター「NO！3密」を作成し、圏域内の関係機関等に配布しました。</p> <p>・今後、感染症対策以外の分野においても、キャラクターを活用した広報活動を展開していきます。</p>
11	・令和元年度、当市の「健康のつどい」で、感染症予防の普及啓発に「あらうさぎ」「ますくま」のキャラクターの着ぐるみや啓発資材を提供いただいたのは、とても好評だった。今後もこのような活動があるとよい。	・今年度は、各市の市民まつり等のイベントが中止となっており、着ぐるみの活動機会が少なくなっていますが、保育所や幼稚園に貸出を行い、子供たちに楽しみながら手洗いや咳エチケットについて学んでもらっています。
12	・J:COMとの連携がないのは何故か。同一	・J:COMなどケーブルテレビの活用も、地域へ

	<p>圏域の中で、情報発信ツールとして活用できないのか。</p>	<p>の情報発信ツールとして有効であると考えています。今後、活用を検討していきます。</p>
--	----------------------------------	--

## イ 災害時保健活動体制強化事業

	意見	事務局コメント
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震災害と台風や大雨による災害について、分けて考える必要があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震災害と風水害とでは、想定される被害や対策も変わってきますが、災害時には関係機関が情報を共有し、連携する必要があります。まずは、保健所と圏域各市との連絡連携体制を構築することから着手していきます。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症と災害対策についての研修、講演をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年8月17日に、圏域各市の健康主管課、防災主管課職員を対象に、新型コロナウイルス感染症及び避難所における感染症対策をテーマにした研修を実施しました。今後も、研修等の企画・実施を検討していきます。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的、福祉的フォローを必要とする方の情報共有（保健所←→各市）、コロナ禍の状況も踏まえて迅速なる対応について更に検討いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅人工呼吸器使用者の災害時個別支援計画については、各市と保健所が情報共有し、作成を進めています。その他の災害時要配慮者への対応についても、各市との連携を進めていきます。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市などが災害避難所用として備蓄してある歯の衛生材料、特に歯ブラシなどの数量をあらためて把握しておくためのアンケートなどをしてみたらどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の避難所運営は各市の役割となっていますが、保健所としても必要な支援をしていきます。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、圏域各市との災害医療連絡会などの繋がり強化、話し合いが必要と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域災害医療連携会議等において、平常時から圏域各市と関係機関が連携していくことが重要であると考えています。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>発災時に、市内関連施設の役割分担を市民が理解していないと、多くの方が病院を訪れるのではないかと危惧している。そのような広報も重要かと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の医療体制や避難行動について市民に周知し、理解していただくことが重要です。各市における防災訓練等を通じた普及啓発の継続が必要だと考えています。</li> </ul>

7	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種災害発生時における連絡・連携体制の構築を推進し、情報の共有及び災害への対応に備えていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の連絡連携体制や役割分担については、圏域各市のみならず関係機関とも確認をしておく必要があると考えています。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時にボランティアセンターの運営を受け持つことになっている当会についても、更なるご指導をお願いする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同上</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアル策定にとどまらず、実践し、検証していることが大変重要であると考え。通常事業として継続されることを望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の課題別地域保健医療推進プランについては、令和元年度からの3か年事業として取り組んでいますが、災害対策については、計画期間終了後も引き続き取り組むべき課題だと考えています。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害が発災した際に毎回起こる被災者の栄養・食事の問題を平時から学び、被災者の健康問題が起こらないように、日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）と連携していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に、圏域栄養士業務連絡会において、「行政栄養士災害時における栄養・食生活支援マニュアル」を改定しました。日本栄養士会のノウハウを反映させるなど、引き続き実行性のあるマニュアルにするため検討していきます。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、災害はどこでも起きる状況だが、圏域において災害を経験することが少ないこともあり、市民の災害に対する危機意識は低いと思う。有事の際に市民がどんな行動をとったらよいか、日頃からもっと学習の機会を増やす備えも必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市の防災ホームページや防災訓練等を通じた普及啓発の継続が必要だと考えています。東京都防災ホームページについても周知していきます。</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練や避難のシミュレーションの市報、冊子、ポスターを希望する。事前に流れが学習されていれば、混乱予防につながると思う。（各家庭でしっかり学べるよう、情報手段として、市報、動画、テレビ、冊子等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同上</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナに対応した新しい形を考える必要があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症流行期における避難所等の受入れに関し、圏域5市と協議・</li> </ul>

		調整し、自宅療養者や濃厚接触者への周知や避難所における専用スペースの確保等をルール化しました（令和2年9月運用開始）。引き続き、新型コロナウイルス感染症に対応した対策を検討・実施していきます。
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終頁に今後の取組がまとめられているが、災害時、各市では全庁を挙げての対応となる。保健所においては、自らの負担軽減のためにも、必要に応じて本庁に対し、応援体制構築のための課題提起をしていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは、保健所と圏域各市との連絡連携体制を構築し、情報を共有することにより、災害発生時に必要に応じて応援要請やスムーズな受援が可能となるよう体制を整備していきます。</li> </ul>

#### (4) 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

	意見	事務局コメント
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>北多摩北部5市のうち、東村山市の人口10万対患者数が低いのは疑問。それほど5市での対応に差はないと思われるのに・・・。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口密度が高い区市において患者発生数が多い傾向がみられますが、詳細は不明です。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市、医師会の新型コロナウイルス対応をまとめてほしい。どの病院で発熱外来を行っているとか、どのクリニックで唾液PCR検査を実施している等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公表されている情報の範囲内になりますが、情報共有を検討していきます。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々状況が変化していく中、保健所や福祉保健局への人的支援に配慮いただき、負荷の軽減についてご検討いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都においては、福祉保健局以外の局からの応援職員の派遣や、会計年度任用職員の採用、人材派遣職員の活用などにより人材確保に努めています。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2波で、患者数よりも相談件数が抑制できているが、これは都のホームページなどによる広報、案内が充実したからなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2波では患者発生数に比べて電話相談件数が抑えられており、この傾向は第3波でより強くなっています。マスコミ報道や都の広報などにより、新型コロナウイルスに関する知識や情報が普及したためと考えられます。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽症者が隔離された場合の栄養管理が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都においては自宅療養者向けの配食サービ</li> </ul>



	<p>抜け落ちているため、都民の健康管理のために、東京都栄養士会や栄養ケア・ステーションをご活用いただきました</p>	<p>スを行っています。ご提案については、本庁へも伝えていきます。</p>
6	<p>・「自分の身近な地域の感染の状況が分からないので、安心して外出もできない。感染数だけでなく、発生地域や感染者の情報などについても知ることができると安心だ。」との声をよく耳にする。市民が、ウイズ・コロナの新しい日常を少しでも不安なく生活できるように、更なる感染対策を含めた生活情報についても発信していく必要があるのではないか</p>	<p>・各市においては、都が提供した情報をもとに、患者数のほか、性別、年代、退院等の累計数等について市民に情報提供しています。新型コロナウイルス感染症対策を含めた生活情報については、各市のホームページに掲載されていますが、保健所から各市に対し、随時、必要な情報提供を継続していきます</p>
7	<p>・コロナ患者数だけでなく、死亡者数、重傷者数、エリア（差し障りあれば町名等で色分けなど）の情報提供をお願いしたい。</p> <p>・状況判断がいち早くできるよう、都だけでなく、各市におけるコロナの現状と対策を動画（LINEやYoutube等）で配信する仕組みをお願いしたい。</p>	<p>・各市においては、都が提供した情報をもとに、患者数のほか、性別、年代、退院等の累計数等について市民に情報提供しています。居住地の詳細については、個人が特定されてしまう可能性があるため公表されていません。</p> <p>・都では、新型コロナウイルス感染症対策サイトを開設し、日々、情報提供を行っています。各市においても、ホームページ等による情報提供を実施しています。</p>

(5) その他

	意見	事務局コメント
1	<p>・シェルター設営について。大災害時等、（精神障害のある方は）一般の方と共に避難所生活を送ることは困難である。また、日常的に危険を避けて飛び出すことがある。現在、東京つくし会（家族会48団体が所属）の中で、府中梅の木会役員</p>	<p>・高齢者、障害者、乳幼児等、災害時要配慮者への対応は、大きな課題であると考えています。各市と連携し、取組を進めていきます。</p>

	<p>の援助で唯一マンションの1室の提供があるという状況だが、必需と考えている。</p>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出自粛が続き、「スポーツ・運動・レクリエーション」、「芸術・文化・教養」など自主グループ活動が制限されて、健康づくりに大切な社会参加・コミュニケーションの機会が減って、特に、「心の健康づくり」への影響が懸念される。</li> <li>・自粛生活の長期化により、うつ症状を発生したケースや、家庭や地域社会を取り巻く人間関係の変化など、様々な新しい問題点も指摘されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症は、市民生活に大きな影響を与えています。平成30年度に圏域内の市民活動団体数を調査しましたが、活動団体数を再度調査するなど状況把握に努めていきます。心の健康づくりや自殺対策についても引き続き取り組んでいきます。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は、コロナ感染予防（特に高齢者）が一番求められている取組だと思う。高齢者施設に立入調査をしていただき、スタッフ、看護師、医師、搬入業者の方々の気がゆるまないよう、毎日のチェック項目報告義務を課していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設をはじめとする社会福祉施設に対しては、新型コロナウイルス感染症対策については、厚生労働省から各種の通知、ガイドライン、マニュアル等が出されています。また、都においても、高齢者施設における感染予防について動画を作成するなど、普及啓発に努めています。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナに対応したプランに修正する必要があるのではないかと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症による影響と現行の地域保健医療推進プランでの対応については、国及び都の保健医療計画推進に関する動向等を踏まえ、今後、部会や協議会で議論していきたいと思えます。</li> </ul>